

# 2016年3月期 第2四半期 (2015年度 中間期) 決算ハイライト



**リそなホールディングス**

2015年11月11日

# 2016年3月期 中間期決算の概要

## ■ 親会社株主に帰属する中間純利益(HD連結): 857億円計上

- ▶ 前年同期比△470億円(△35.4%)、予想比△53億円(△5.8%)の各減益

### 【主な変動要因(前年同期比・銀行合算)】

- 株式等関係損益(先物込)減少(△120億円): ETFリバランス実施
- 与信費用増加(△436億円): ①貸倒引当金の戻入が一巡  
②保守性を重視した引当を実施
- 土地信託関連戻入益剥落(△109億円)

## ■ 業務粗利益(銀行合算): 前年同期比△19億円(△0.6%)減益

- ▶ 利鞘の縮小を貸出残高の増加、フィー収益・国債運用収益の増加でカバー

- 国内預貸金利回り差: 1.26%、前年同期比△0.10%
- 貸出金(平残): 前年同期比約8,200億円増加(+3.1%)
- 役務取引等利益: 前年同期比+50億円(+9.6%)

- ▶ 一方、債券関係損益(先物込)のうち、米債分が前年同期比△81億円の減益

## ■ 実勢業務純益(銀行合算): 前年同期比+20億円(+1.7%)増益

- 経費: 厳格な運営を継続、経费率(OHR)は前年同期比改善

## ■ 財務基盤: 健全性を維持

- 不良債権比率(銀行合算): 1.61%
- その他有価証券評価差額(銀行合算): 4,985億円
- HD連結自己資本比率: 13.90%

## ■ 公的資金を完済、当期より中間配当(8.5円)を実施

## ■ 親会社株主に帰属する当期純利益(HD連結)の 通期業績予想: 期初予想通り(1,750億円)

HD連結 (億円)	2016/3期				'15/5公表 中間期 業績予想
	中間期	前年 同期比	増減 率	予想比 進捗率	
<b>親会社株主に帰属する 中間純利益 (1)</b>	<b>857</b>	<b>△ 470</b>	<b>△35.4%</b>	<b>94.1%</b>	<b>910</b>
連単差((1)-(20)) (2)	99	△ 5			85
1株当たり当期純利益(EPS、円) (3)	35.01	△25.66			37.66
1株当たり純資産(BPS、円) (4)	686.60	+73.94			
銀行合算 (億円)	2016/3期				'15/5公表 中間期 業績予想
	中間期	前年 同期比	増減 率	予想比 進捗率	
<b>業務粗利益 (5)</b>	<b>2,834</b>	<b>△ 19</b>	<b>△0.6%</b>	<b>97.9%</b>	<b>2,895</b>
資金利益 (6)	1,997	△ 64			
うち国内預貸金利益*1 (7)	1,670	△ 89			
信託報酬 (8)	110	△ 1			
役務取引等利益 (9)	569	+50			
その他業務粗利益 (10)	156	△ 2			
うち債券関係損益(先物込) (11)	70	△ 23			
経費 (12)	△ 1,619	+39	+2.3%	96.6%	△ 1,675
経费率 (13)	57.1%	△0.9%			
<b>実勢業務純益*2 (14)</b>	<b>1,215</b>	<b>+20</b>	<b>+1.7%</b>	<b>99.6%</b>	<b>1,220</b>
株式等関係損益(先物込) (15)	21	△ 120			
与信費用 (16)	△ 205	△ 436			△ 70
その他の臨時・特別損益 (17)	24	△ 87			
<b>税引前中間純利益 (18)</b>	<b>1,055</b>	<b>△ 624</b>	<b>△37.1%</b>	<b>89.0%</b>	<b>1,185</b>
税金費用ほか (19)	△ 298	+159			
<b>中間純利益 (20)</b>	<b>757</b>	<b>△ 464</b>	<b>△38.0%</b>	<b>91.8%</b>	<b>825</b>

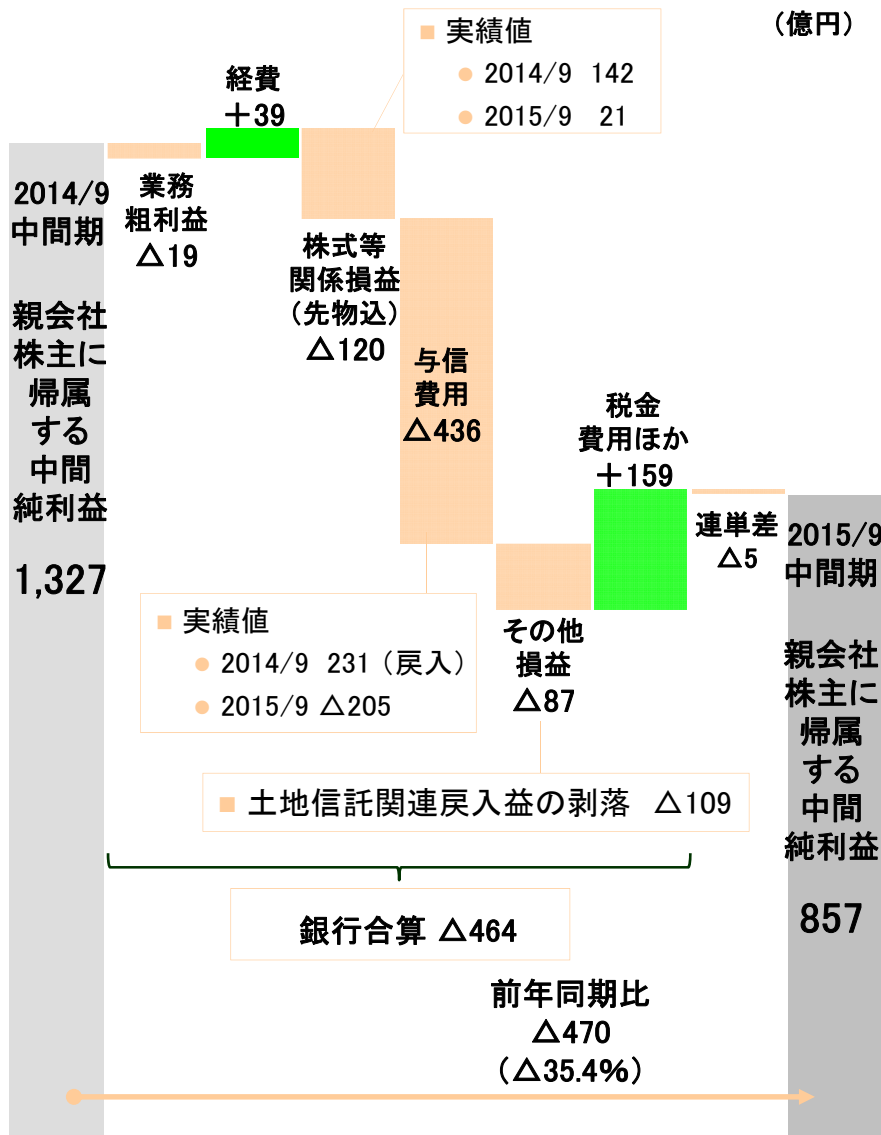
\*1. 国内預貸金利益: 銀行勘定(譲渡性預金を含む)

\*2. 信託勘定不良債権処理額、一般貸倒引当金繰入額を除いた業務純益

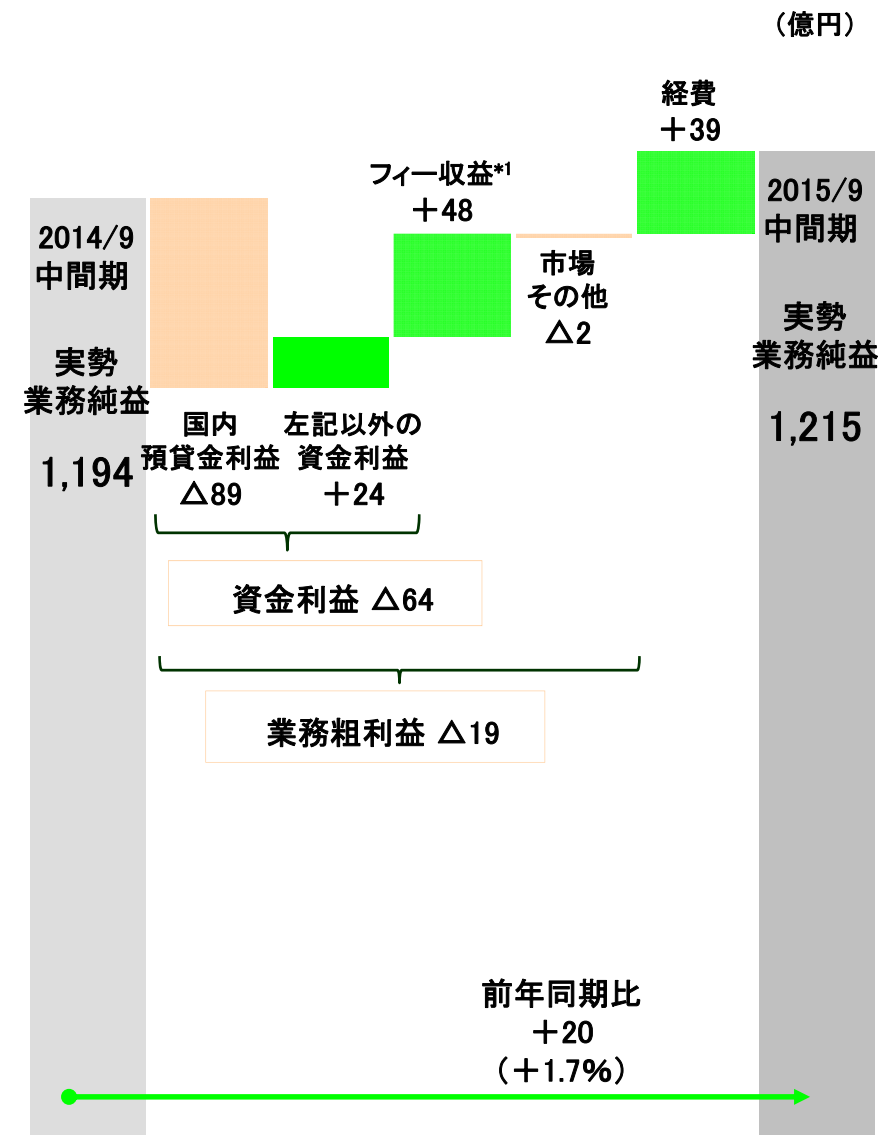
\*3. 利益にマイナスの場合は「△」を付して表示

# 期間損益の増減要因分析(前年同期比)

## 親会社株主に帰属する中間純利益(HD連結)



## 実勢業務純益(銀行合算)



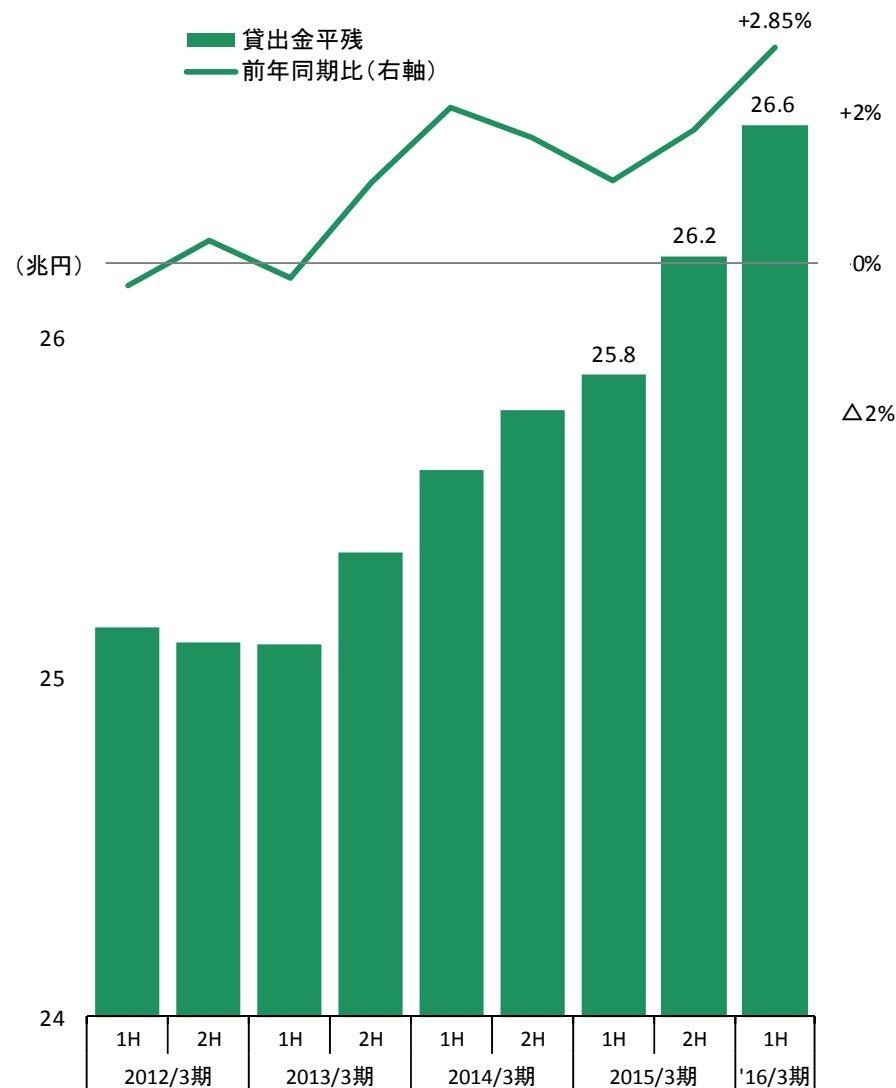
\*1. 役員取引等利益+信託報酬

# 貸出金・預金の平残・利回りの状況(銀行合算)

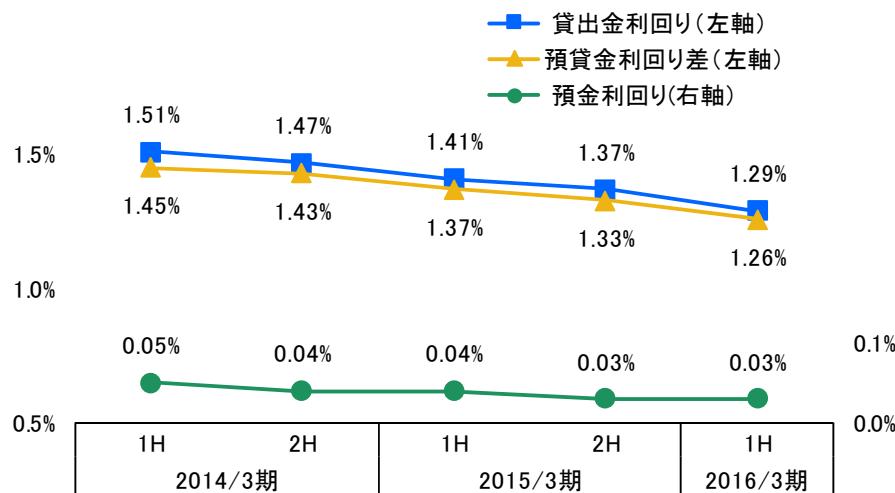
## 平残・利回り差

(兆円)		1H		2016/3期			
		(実績)	増減率	(計画)	増減率		
貸出金平残(銀行勘定)		(1)	27.14	+3.12%			
国内 円貨*1	貸出金	平残 (2)	26.62	+2.85%	26.71	+2.49%	
		利回り (3)	1.29%	△0.11%	1.29%	△0.09%	
	コーポレート 部門(公共除)*2	平残 (4)	15.46	+3.50%	15.54	+2.98%	
		利回り (5)	1.17%	△0.13%	1.15%	△0.11%	
	コンシューマー 部門*3	平残 (6)	10.20	+1.96%	10.23	+1.77%	
		利回り (7)	1.53%	△0.07%	1.54%	△0.06%	
	預金+NCD	平残 (8)	38.01	+3.24%	37.78	+1.65%	
		利回り (9)	0.03%	△0.00%	0.03%	△0.00%	
	預貸金利回り差 (10)			1.26%	△0.10%	1.26%	△0.09%

## 貸出平残、前年同期比増減率(国内円貨)



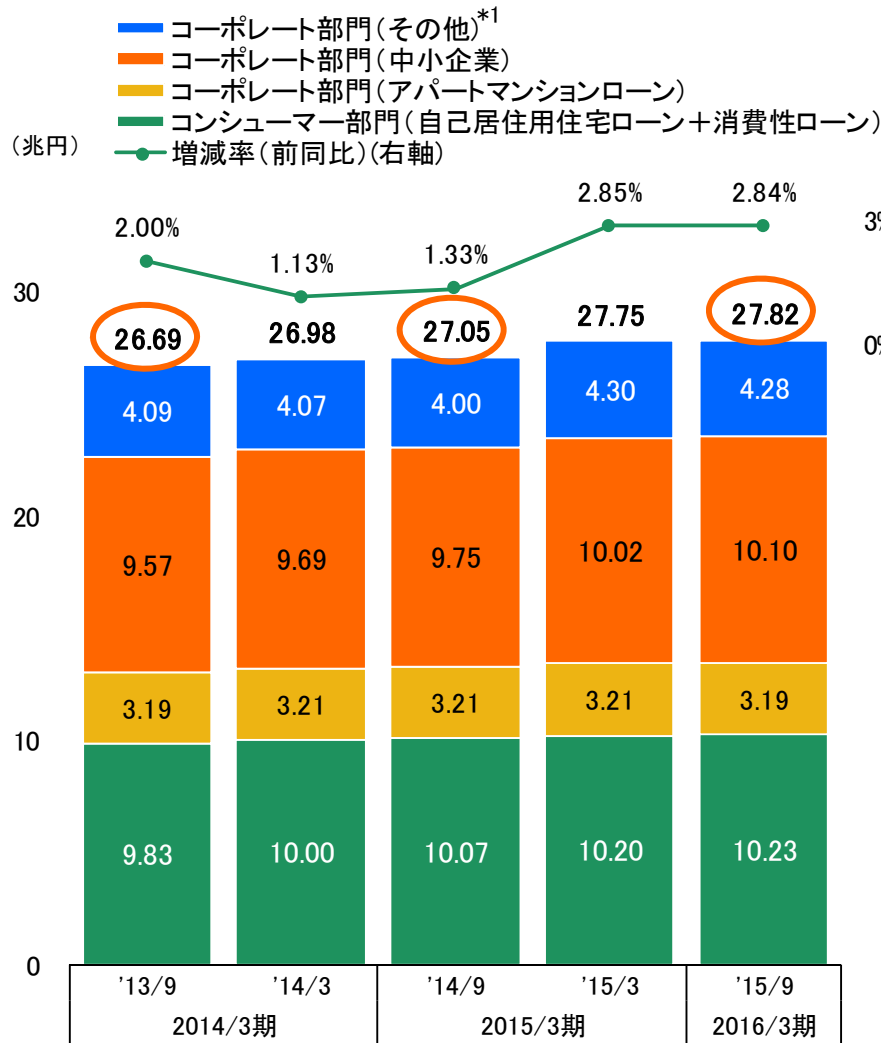
## 預貸金利回り・利回り差(国内円貨)



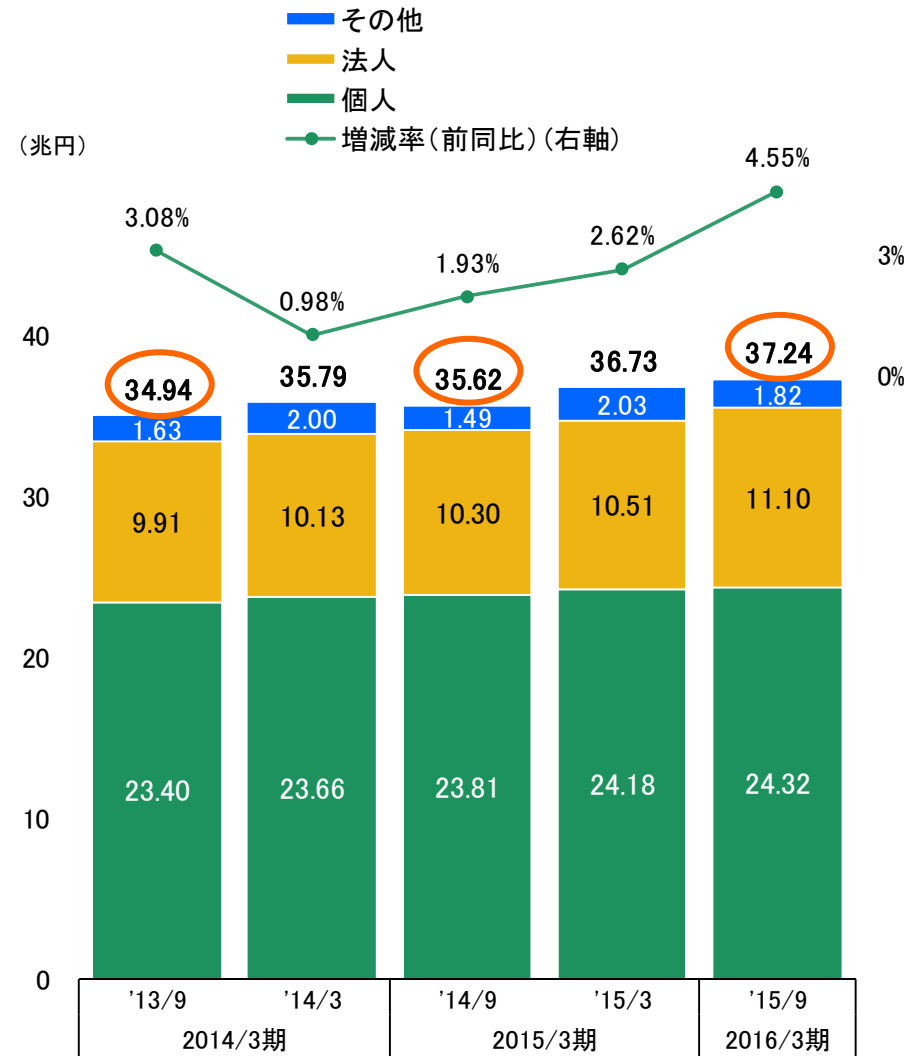
\*1. 社内管理計数  
 \*2. コーポレート部門(公共除): 一般貸出 + アパートマンションローン  
 \*3. コンシューマー部門: 自己居住用住宅ローン + 消費性ローン

# 貸出金・預金末残の状況(銀行合算)

## 貸出金末残



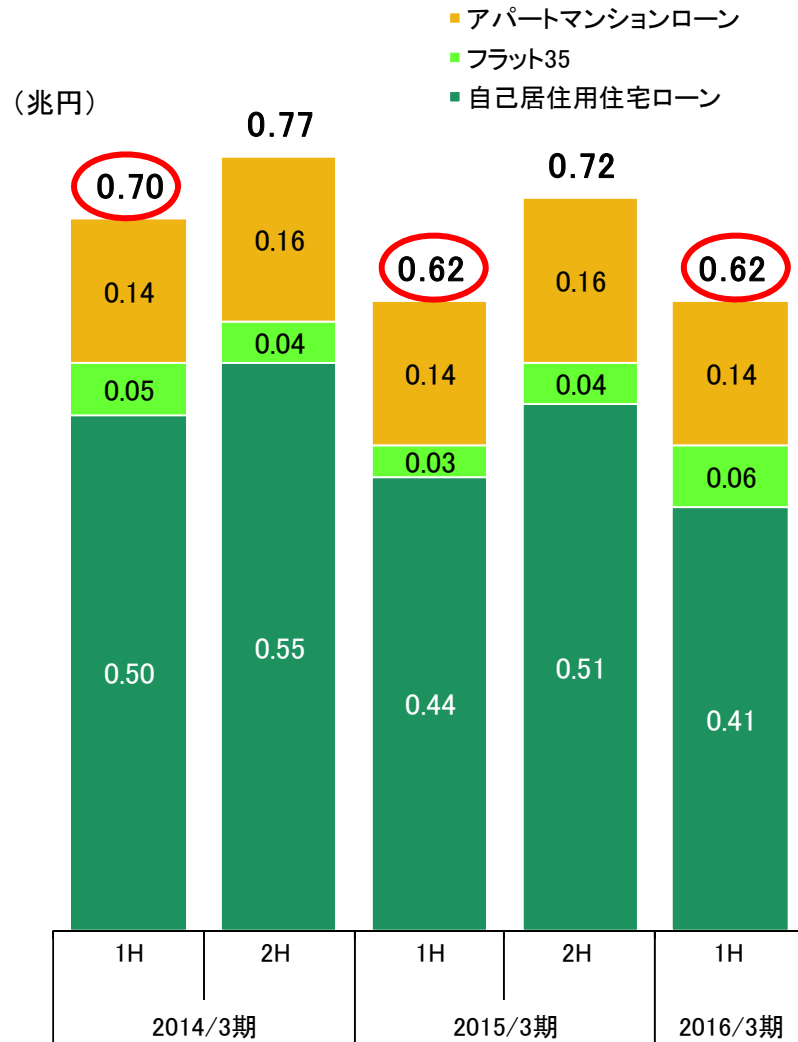
## 預金末残



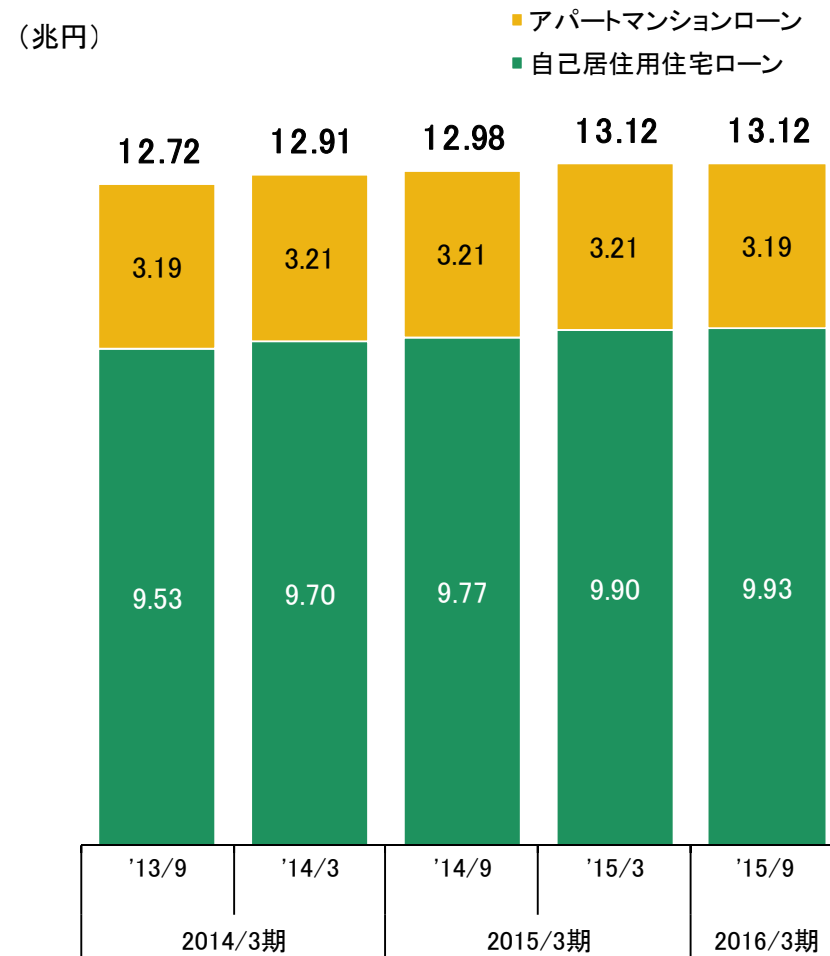
\*1. リそな銀行からリそなホールディングスへの貸出 (0.30兆円)を含む

# 住宅ローンの状況(銀行合算)

## 実行額の推移

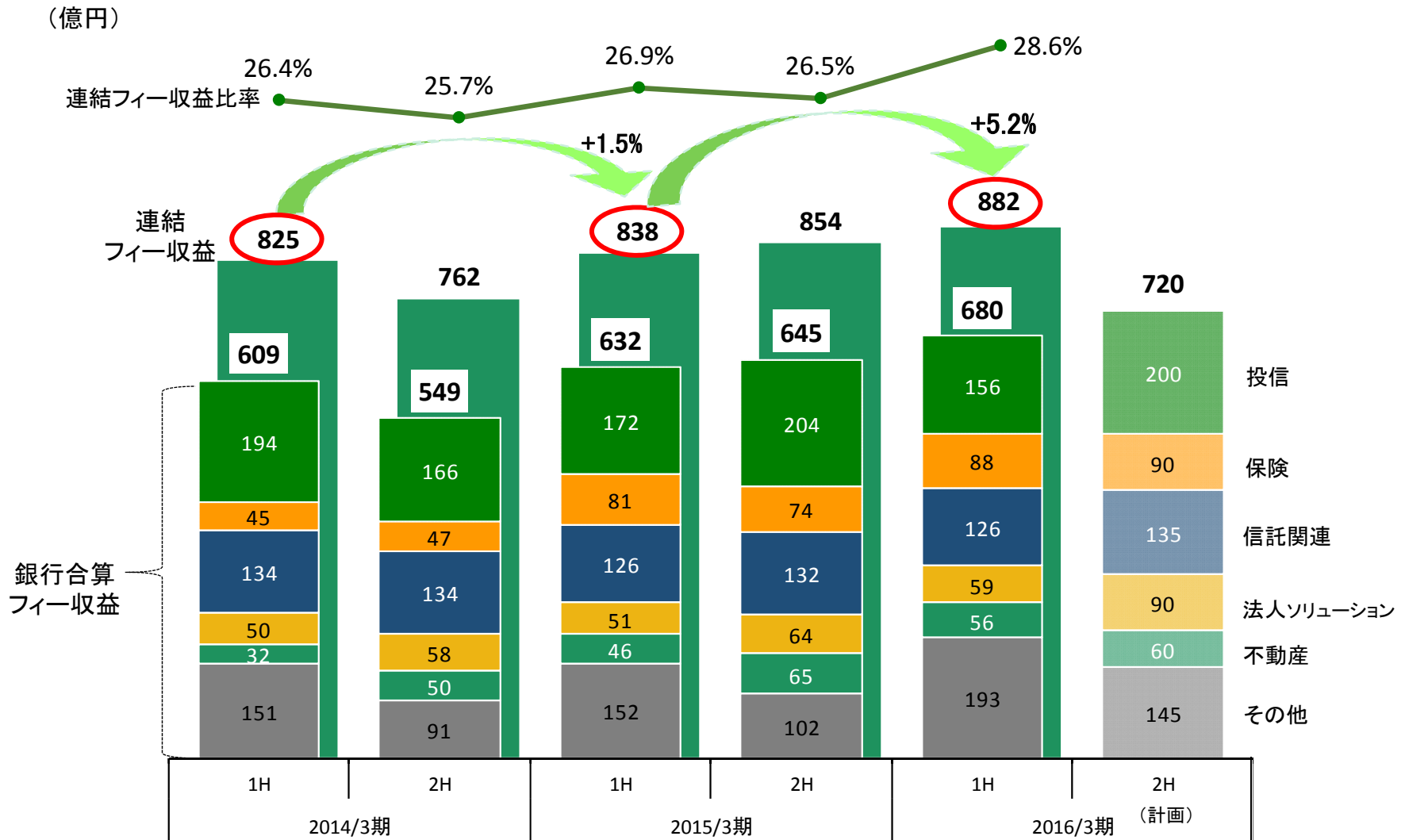


## 残高の推移



# フィー収益のトレンド

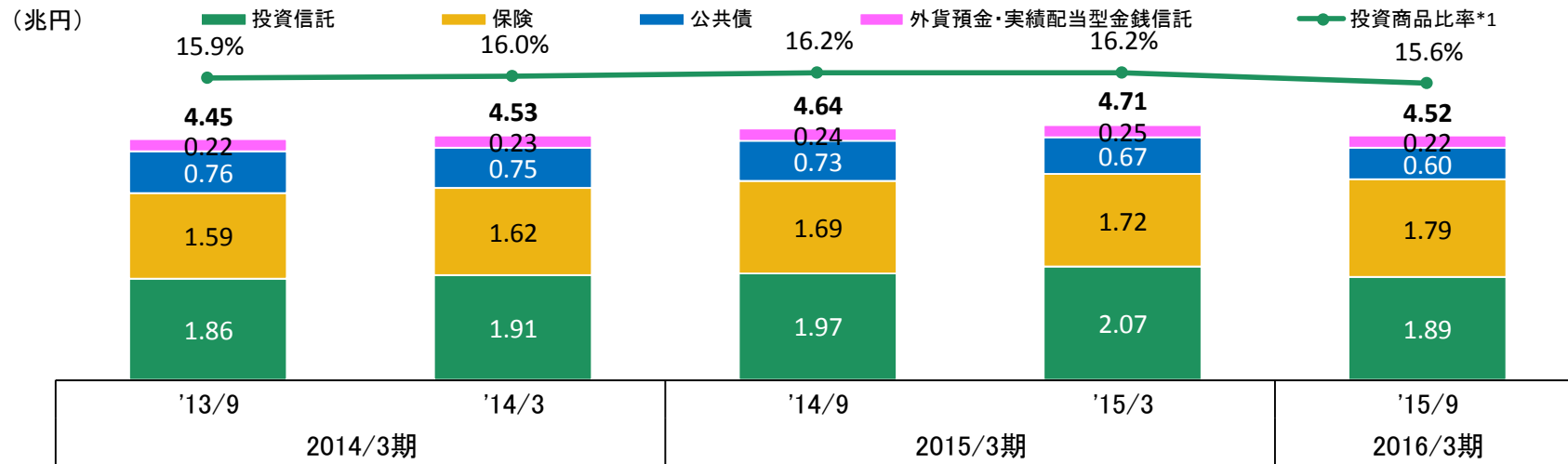
フィー収益は着実に増加、2016/3期中間期の連結フィー収益比率は28.6%



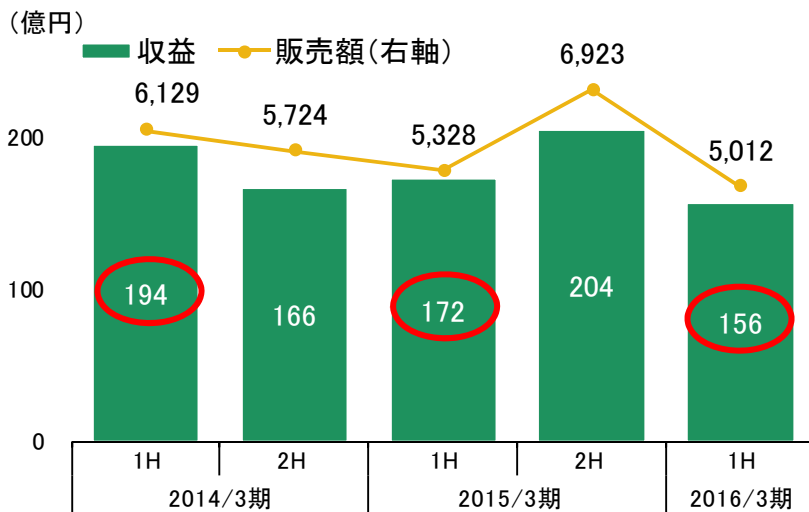
\*1. フィー収益=役務取引等利益+信託報酬 \*2. フィー収益比率=フィー収益/粗利益

# 主要なフィージネスの状況 (1)(銀行合算)

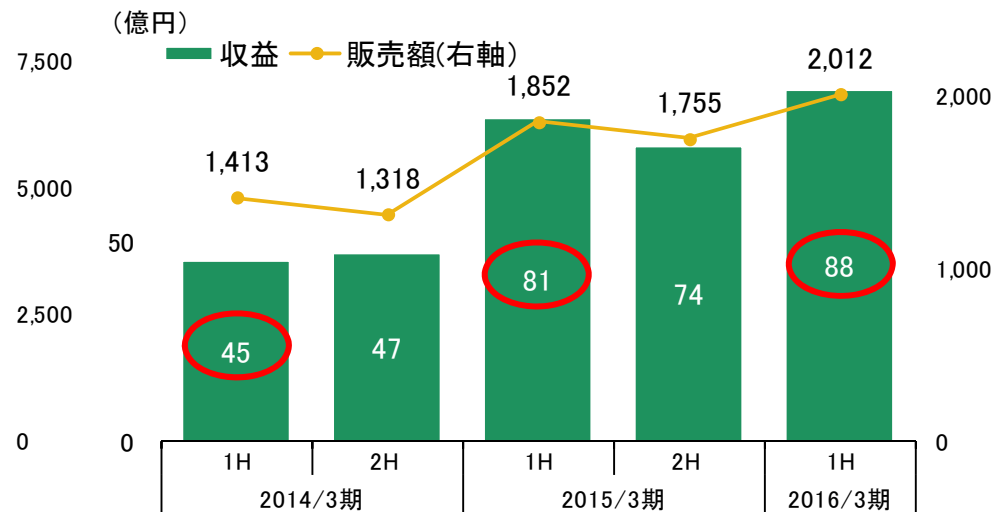
## 個人向け投資商品残高



## 投資信託販売



## 保険販売

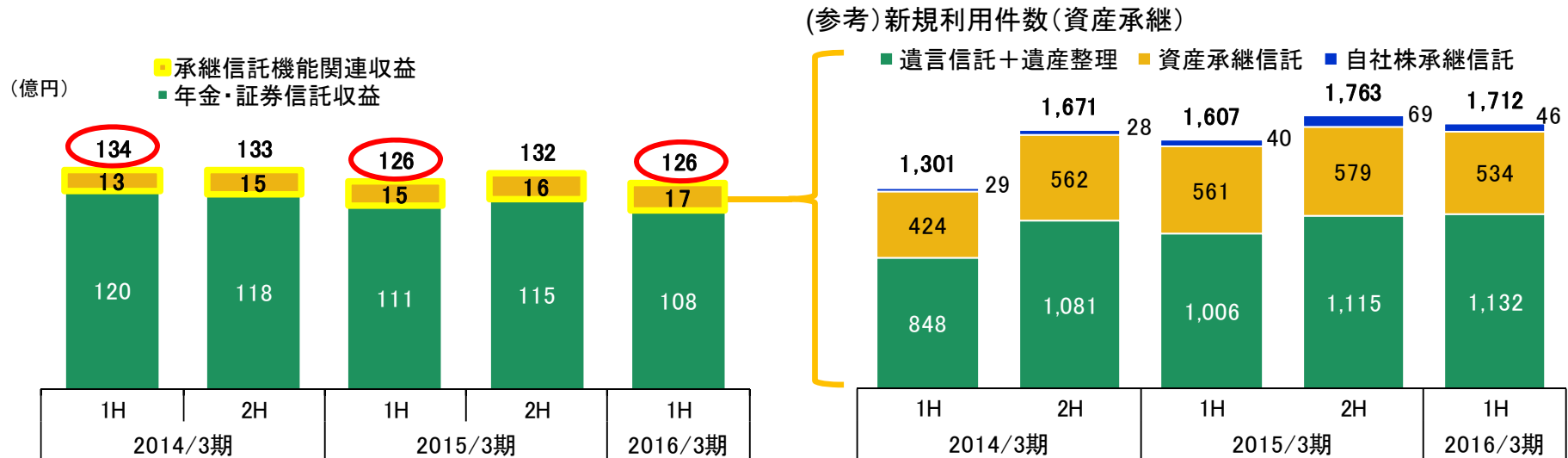


\*1. 投資商品比率 = 個人向け投資商品残高 / 預り金融資産残高、社内管理計数  
 預り金融資産残高 = 個人向け投資商品残高 + 個人預金(円貨)、社内管理計数

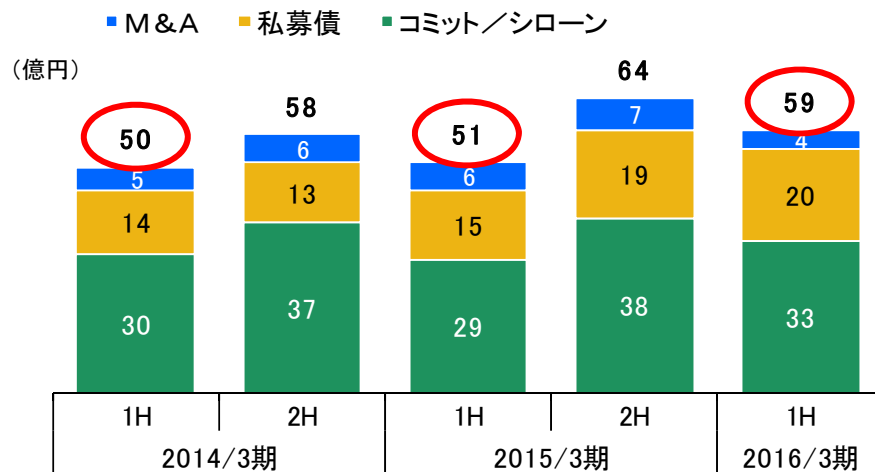


# 主要なフィージネスの状況 (2)(銀行合算)

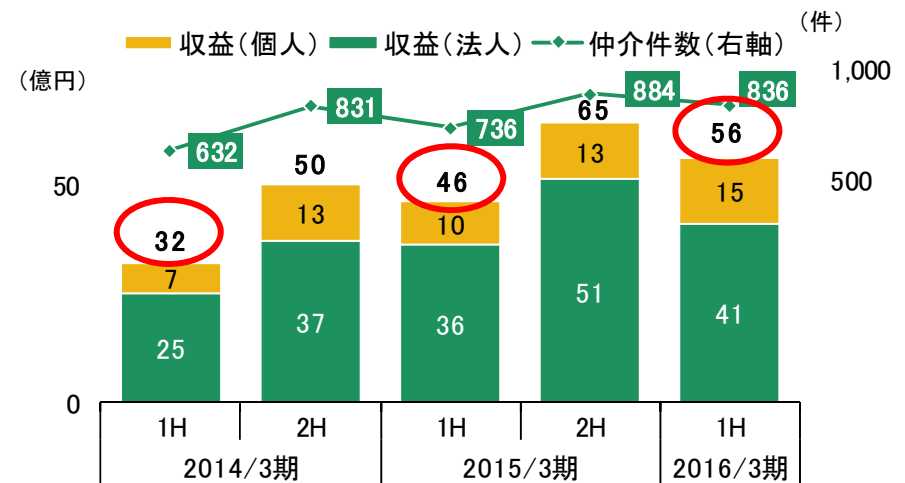
## 信託業務関連収益



## 法人ソリューション収益



## 不動産業務収益\*1



\*1. 不動産ファンド出資関連収益除く

# 与信費用、不良債権の状況

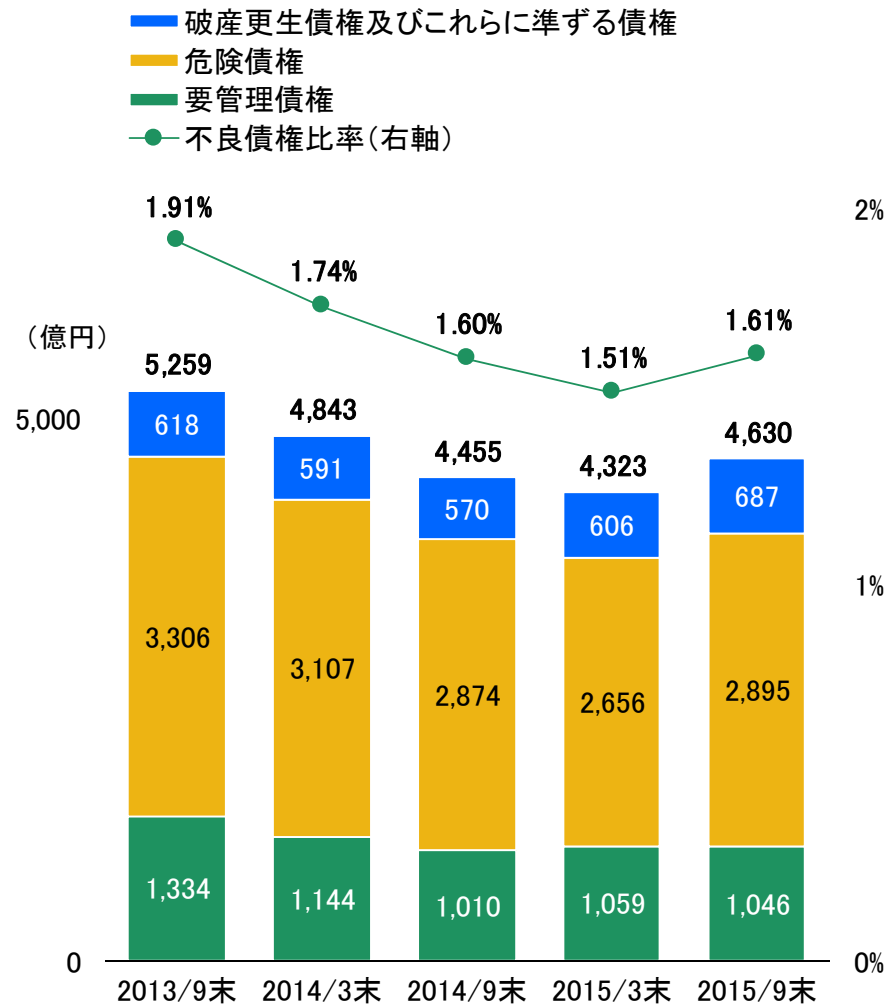
## 与信費用の状況

(億円)	2014/3期	2015/3期		2016/3期		計画
		中間期	中間期	中間期	前年同期比	
<b>銀行合算</b> (1)	271	231	243	△205	△436	△330
一般貸倒引当金 (2)	284	176	235	△22	△198	
個別貸倒引当金等 (3)	△13	54	7	△182	△237	
新規発生 (4)	△368	△145	△295	△322	△176	
回収・上方遷移等 (5)	354	200	303	139	△60	
<b>連単差</b> (6)	△6	8	△19	△6	△14	△15
うち、住宅ローン保証 (7)	14	26	11	3	△22	
うち、りそなカード (8)	△14	△11	△16	△11	+0	
<b>HD連結</b> (9)	264	239	223	△212	△451	△345

\*正の値は戻入を表す

## 不良債権残高・比率の推移(銀行合算)

(金融再生法基準)



# 有価証券の状況(銀行合算)

## 有価証券の状況

(億円)		2014/3末	2015/3末	2015/9末	評価差額
その他有価証券*1	(1)	61,987	38,276	32,865	4,985
株式	(2)	3,316	3,306	3,281	4,983
債券	(3)	55,535	31,869	25,447	81
国債	(4)	44,535	21,511	16,462	18
(デュレーション)*2	(5)	3.1年	3.3年	3.0年	-
(BPV)	(6)	△ 14.1	△ 7.2	△ 5.0	-
地方債・社債	(7)	10,999	10,358	8,985	63
その他	(8)	3,135	3,100	4,135	△ 80
外国証券	(9)	1,513	1,430	2,131	△ 5
(評価差額)	(10)	3,328	5,731	4,985	

満期保有債券*3	(11)	21,507	24,357	24,569	728
国債	(12)	17,083	19,620	19,618	579
(評価差額)	(13)	678	726	728	

- \*1. 取得原価、時価のある有価証券のみを対象として記載  
 \*2. 変動利付国債のデュレーションはゼロで計算  
 \*3. BS計上額、時価のある有価証券のみを対象として記載  
 \*4. 「その他有価証券」分

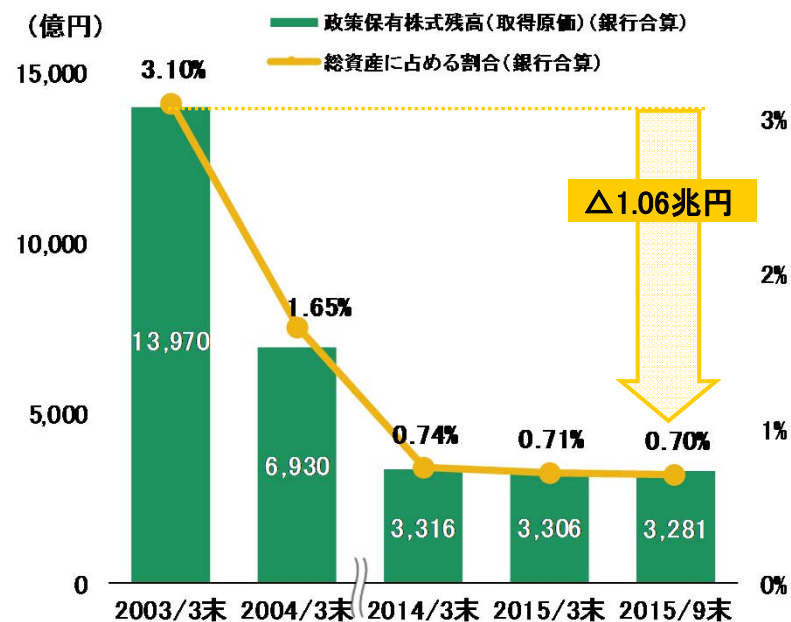
## 政策保有株式の状況

- 日経平均損益分岐点株価 5,800円程度
- 株式売却額(上場分・取得原価)18億円、売却益27億円
- 政策保有株式に関する方針の概要
 

公的資金による資本増強以降、残高圧縮に取組み価格変動リスクを低減。引き続き、以下の方針を踏まえ、リスクに見合った適正なリターンを追求

  1. 財務的体力を超えた政策株式の保有はしない
  2. 相互の持続的な企業価値向上を通じ、中長期かつ安定的な取引関係を構築
  3. 保有の是非は、中長期的な取引展望の実現可能性を含むリスク・リターンを検証し判断

### 【株式保有残高及び総資産に占める割合の推移\*4】



# 自己資本比率

## 自己資本比率の状況(HD連結)

### 国内基準

(億円)		2015/3末	2015/9末	増減
<b>自己資本比率</b>	(1)	<b>13.46%</b>	<b>13.90%</b>	<b>+0.44%</b>
<b>自己資本の額</b>	(2)	19,984	19,997	+13
コア資本に係る基礎項目の額	(3)	20,259	20,236	△23
資本金及び剰余金	(4)	11,149	11,764	+615
うち当期(中間)純利益	(5)	2,114	857	
うち社外流出予定額(△)	(6)	2,422	234	△2,187
自己株式(△)	(7)	24	22	△2
社債型優先株式(経過措置による算入)	(8)	1,750	1,750	-
劣後債等(経過措置による算入)	(9)	6,283	5,702	△581
適格引当金等算入額	(10)	765	686	△78
その他	(11)	335	355	+19
コア資本に係る調整項目の額	(12)	275	239	△36
<b>リスク・アセット等</b>	(13)	148,421	143,832	△4,588
信用リスク・アセットの額	(14)	136,367	129,207	△7,160
マーケット・リスク相当額÷8%	(15)	1,299	1,068	△231
オペレーショナル・リスク相当額÷8%	(16)	10,753	10,756	+2
フロア調整額	(17)	-	2,799	+2,799

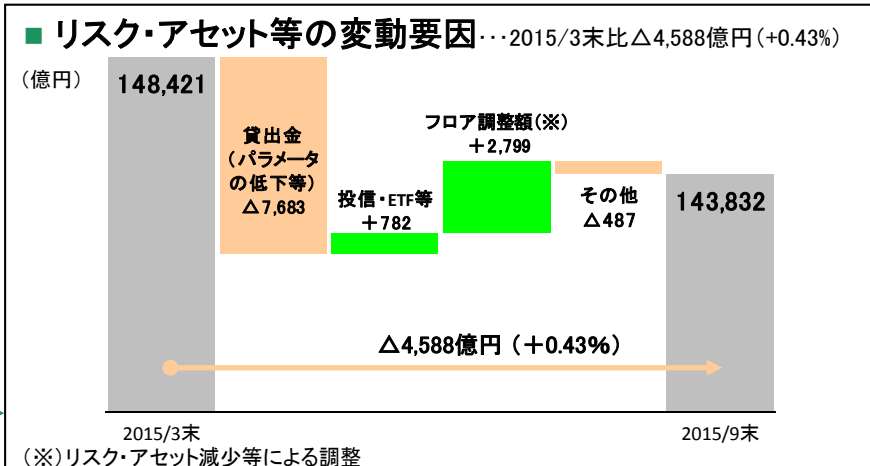
### (参考)国際統一基準

(億円)		2015/3末	2015/9末	増減
<b>普通株式等Tier1比率</b>	(18)	<b>8.16%</b>	<b>8.76%</b>	<b>+0.60%</b>
その他有価証券評価差額金除き	(19)	7.07%	7.77%	+0.70%
<b>Tier1比率</b>	(20)	<b>9.71%</b>	<b>9.93%</b>	<b>+0.22%</b>
<b>総自己資本比率</b>	(21)	<b>14.03%</b>	<b>14.24%</b>	<b>+0.21%</b>

## 変動要因

■ 自己資本の額の変動要因…2015/3末比+13億円(+0.01%)

- ✓ 当期(中間)純利益の積み上がり … 857億円
- ✓ 社外流出予定額(中間配当) … △234億円
- ✓ 劣後債等の償還等 … △581億円



## 自己資本比率の状況(傘下銀行)

国内基準(億円)		りそな(連結)	埼玉りそな(単体)	近畿大阪(連結)
<b>自己資本比率</b>	(22)	<b>14.09%</b>	<b>16.08%</b>	<b>11.40%</b>
<b>自己資本の額</b>	(23)	14,887	4,407	1,529
コア資本に係る基礎項目の額	(24)	15,069	4,510	1,530
コア資本に係る調整項目の額	(25)	181	102	1
<b>リスク・アセット等</b>	(26)	105,595	27,392	13,410

# 2016年3月期 業績予想(2015年11月公表)

## HD連結

(億円)	中間期実績	通期予想	期初予想比	前年実績比
経常利益 (1)	1,218	2,500	△ 40	△ 833
親会社株主に帰属する当期(中間)純利益 (2)	857	1,750	-	△ 364
連単差(2)-(11) (3)	99	180	+30	+30

## 配当予想

	1株当たり配当
普通配当 (12)	17円
うち中間配当 (13)	8.5円
優先配当 (14)	所定の配当

## 銀行合算

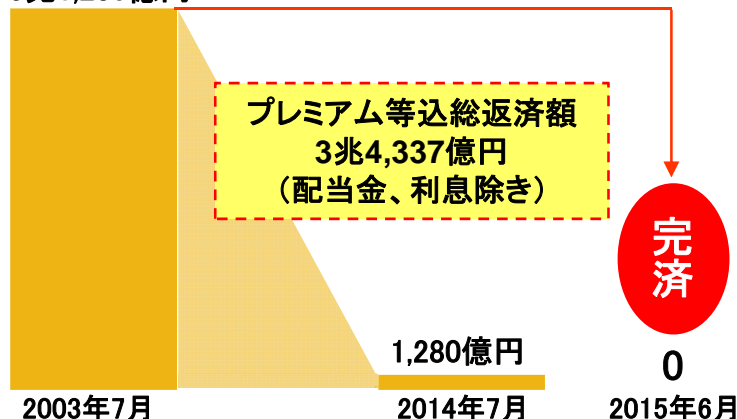
(億円)	銀行合算				りそな銀行				埼玉りそな銀行				近畿大阪銀行			
	中間期実績	通期予想	期初予想比	前年実績比	中間期実績	通期予想	期初予想比	前年実績比	中間期実績	通期予想	期初予想比	前年実績比	中間期実績	通期予想	期初予想比	前年実績比
業務粗利益 (4)	2,834	5,810	-	+5	1,861	3,920	-	+10	716	1,370	-	+7	256	520	-	△ 10
経費 (5)	△ 1,619	△ 3,350	-	+3	△ 1,061	△ 2,195	-	+3	△ 372	△ 760	-	+8	△ 185	△ 395	-	△ 9
実勢業務純益 (6)	1,215	2,460	-	+9	799	1,725	-	+14	344	610	-	+15	71	125	-	△ 19
株式等関係損益 (7)	△ 15	80	△ 20	△ 365	△ 34	55	△ 40	△ 374	17	20	+20	+14	1	5	-	△ 4
与信費用 (8)	△ 205	△ 330	△ 150	△ 573	△ 230	△ 305	△ 215	△ 553	2	△ 30	+30	△ 8	22	5	+35	△ 12
経常利益 (9)	1,060	2,245	△ 85	△ 758	604	1,545	△ 175	△ 746	358	580	+45	+14	98	120	+45	△ 25
税引前当期(中間)純利益 (10)	1,055	2,230	△ 85	△ 702	600	1,535	△ 175	△ 708	357	575	+45	+13	97	120	+45	△ 6
当期(中間)純利益 (11)	757	1,570	△ 30	△ 394	434	1,090	△ 105	△ 409	243	385	+30	+33	80	95	+45	△ 17

# 資本政策及び株主還元方針について

## 2016年3月期中間期の資本アクション

### ■ 公的資金完済(2015年6月)

3兆1,280億円



### ■ 第4種優先株式630億円を取得・消却(2015年7月) (経過配当金相当額込み638億円)

⇒ 2015年3月に実施した自己株式処分(865億円)と併せ、「資本の実質的交換(キャピタル・エクステンジ)」が完了

### ■ 優先出資証券の償還(2015年7月)

➢ RPGS(Cayman) 発行 優先出資証券を償還  
1,150百万米ドル (7.191%)

## 今後の資本マネジメントの方向性

### 自己資本比率目標

- 国内基準において十分な自己資本を確保
- 国際統一基準において、CET1比率\*1で8%を安定的に上回る水準を目指す

2015/9末  
CET1比率\*1  
7.77%

### ROE目標

- 資本効率を重視した運営に努め、10%を上回るROE\*2の水準を目指す

2015/9期  
実績  
13.71%

### 株主還元

- 自己資本の充実に努めつつ安定配当を継続
- 社債型優先株式(1,750億円)の取得消却を実施した際には、減少が見込まれる優先配当(73億円)を見合いに普通配当の増配を検討

2016/3期(予想)  
普通株式配当@17円  
(うち中間配当@8.5円)

\*1. その他有価証券評価差額金除き、規制基準(経過措置勘案ベース)  
\*2. (当期純利益-優先株式配当) ÷ (株主資本-優先株式残高)、期首・期末平均

# オムニチャネル戦略の進捗状況

## 圧倒的なお客さま利便性の実現に向けて

### 取引「時間」の常識への挑戦（いつでも）

- 平日17時迄営業(2003/10～)
- 24時間有人対応テレフォンバンキング(2005/5～)

#### ■ りそなグループ銀行間 24時間365日振込

- 個人向け(2015/4～)
- 法人向け(2015/10～)



24時間 365日

Resona Group  
**my gate ATM**  
Webマネーコミュニケーション



#### ■ 平日19時迄365日営業店舗

- セブンデイズプラザとよす(2015/11/15)  
(新型相談特化型 モデル店舗)
- 今年度中に更に4拠点開設  
11拠点体制へ

#### ■ 住宅ローン休日運営体制

- LP休日運営(2003/10～)  
2015/3末時点71拠点
- 休日審査(2015/6～)
- 休日実行(今年度中・予定)

### 取引「空間」の常識への挑戦（どこでも）

#### ■ ネットチャネルの飛躍的拡充

- マイゲート(2014/4～)
- HPチャット機能開始(2015/7～)
- Web決済ポータルサイト(2015/11～)
- ポイントモール(2015/11～)
- インターネット支店(今年度中・予定)



#### ■ グループ銀行店頭相互利用サービス

- 預金に関する各種諸届(2015/9～)
- 普通預金取引(2015/11～)  
(普通預金通帳共通化)

#### ■ タブレット端末による提案営業

- 本部FPIによるリモートサポート(2015/6～)
- 個人渉外・店頭セールス常備(今年度中・予定)

最適な  
商品・サービス

従来の枠組み・常識  
の打破

いつでも

どこでも

基幹系システムの更改(2015年1月)

# 2015年11月15日 セブンデイズプラザとよすオープン

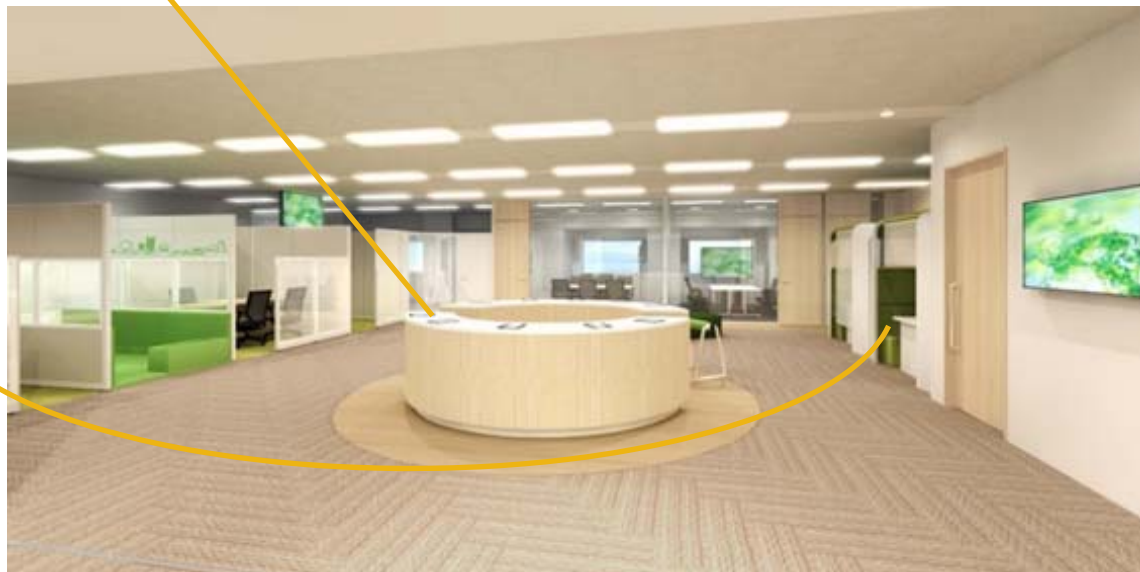
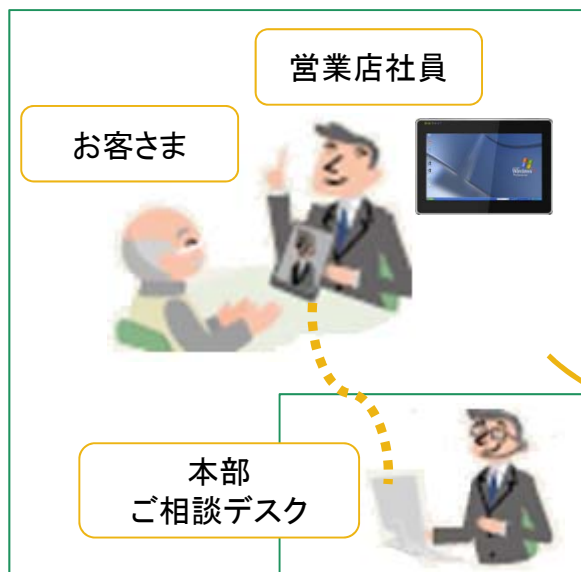
いつでも どこでも 最適な商品・サービス

- 「年中無休午後7時まで営業」店舗
- 顧客利便性を高める機能を拡充
  - 大手行初 印鑑なしで口座開設
  - 年中無休7時～22時\*1まで利用可能なキーレス貸金庫
  - バーコードリーダーで税公金払込処理時間短縮
  - 店頭タブレットで事前受付・ご記入が可能  
⇒ 待ち時間短縮、ペーパーレス
- コンサルティング機能強化
  - タブレット・PCのTV電話システムで本部専門人員が高度なコンサルティング

オムニチャネル構想を具現化するパイロット店舗

目指す姿

- 取引原店主義の打破
  - グループ銀行／支店、どこでも同水準のサービスを実現
- タブレット端末で、提案から事務まで完結
  - 「店頭」、「後方」区分けから「全員接客」へ
- 新型相談特化型店舗を中心にお客さまの生活圏内へ積極展開



\*1. 土日・祝日は8時～22時



## (ご参考)2016年3月期中間期の損益状況(HD連結/傘下銀行)

(億円)	HD連結		連単差		銀行合算		りそな銀行		埼玉りそな銀行		近畿大阪銀行	
		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比		前年同期比
<b>粗利益【連結/業務】</b> (1)	<b>3,076</b>	<b>△ 27</b>	<b>+242</b>	<b>△ 8</b>	<b>2,834</b>	<b>△ 19</b>	<b>1,861</b>	<b>△ 53</b>	<b>716</b>	<b>+35</b>	<b>256</b>	<b>△ 0</b>
資金利益 (2)	2,032	△ 69	+34	△ 4	1,997	△ 64	1,275	△ 29	535	△ 28	187	△ 7
うち国内預貸金利益 (3)					1,670	△ 89	1,051	△ 51	453	△ 29	164	△ 8
信託報酬 (4)	110	△ 1	△ 0	+0	110	△ 1	110	△ 1	-	-	-	-
役務取引等利益 (5)	771	+46	+201	△ 4	569	+50	408	+40	112	+10	48	△ 1
その他業務粗利益 (6)	162	△ 1	+5	+0	156	△ 2	67	△ 63	68	+52	20	+8
うち債券関係損益(先物込) (7)	70	△ 23	-	-	70	△ 23	△ 11	△ 82	63	+50	19	+8
“営業”経費 (8)	△ 1,736	+39	△ 90	△ 1	△ 1,645	+41	△ 1,068	+25	△ 382	+12	△ 194	+2
経費(臨時処理分除く) (9)					△ 1,619	+39	△ 1,061	+28	△ 372	+9	△ 185	+2
実勢業務純益 (10)					1,215	+20	799	△ 25	344	+44	71	+1
株式等関係損益 (11)	△ 13	△ 248	+1	+0	△ 15	△ 249	△ 34	△ 269	17	+18	1	+1
与信費用 (12)	△ 212	△ 451	△ 6	△ 14	△ 205	△ 436	△ 230	△ 442	2	△ 0	22	+6
その他損益等 (13)	98	+39	+10	△ 0	87	+39	72	+35	3	△ 6	11	+11
<b>税引前中間純利益</b> (14)	<b>1,213</b>	<b>△ 648</b>	<b>+157</b>	<b>△ 23</b>	<b>1,055</b>	<b>△ 624</b>	<b>600</b>	<b>△ 703</b>	<b>357</b>	<b>+58</b>	<b>97</b>	<b>+21</b>
税金費用ほか (15)	△ 356	+178	△ 58	+18	△ 298	+159	△ 166	+175	△ 114	△ 10	△ 17	△ 5
<b>(親会社株主に帰属する) 中間純利益</b> (16)	<b>857</b>	<b>△ 470</b>	<b>+99</b>	<b>△ 5</b>	<b>757</b>	<b>△ 464</b>	<b>434</b>	<b>△ 528</b>	<b>243</b>	<b>+47</b>	<b>80</b>	<b>+16</b>

本資料中の、将来に関する記述（将来情報）は、次のような要因により重要な変動を受ける可能性があります。

具体的には、本邦における株価水準の変動、政府の方針、法令、実務慣行及び解釈に係る展開及び変更、新たな企業倒産の発生、日本および海外の経済環境の変動、並びにりそなグループのコントロールの及ばない要因などです。

本資料に記載された将来情報は、将来の業績その他の動向について保証するものではなく、また実際の結果と比べて違いが生じる可能性があることにご留意下さい。

想いをつなぐ、未来を形に。 *Next Action* RESONA GROUP

